イベント中、質疑応答の時間に寄せられたご質問と回答をご紹介致します。

Q01.　活用方法やトップページの魅せ方はどのように工夫されていますか

（日本体育大学柏高等学校 沖田様(以降沖田様)）活用方法については、他校の電子図書館サイトを参考にしています。一方で魅せ方のコツや、デザイン性の部分については書店のウェブストアサイトや EC サイトの本の配置、デザイン性、魅せ方を参考にしています。

Q02.　トップ画面に並ぶコンテンツが生徒の関心にも影響すると思いますが、どのように決めていらっしゃいますか

（沖田様）生徒が好きそうな本を並べることを意識していますが、活字だけの表紙よりは、インパクトのある表紙をトップページでも魅せるようにしています。この点は、紙書籍をリアルの学校図書館で展示する時の工夫点と似ているかと思います。

Q03.　英語多読の書籍で、読み上げ機能が付いているものはあるでしょうか

（紀伊國屋書店）音声読み上げ機能に対応した電子書籍とは、技術的課題（E-pub リフロー形式であること）と、出版社の許諾の 2 つのポイントをクリアした書籍のことを指しています。現在 LibrariE に搭載されている英語多読書籍は、音声読み上げに対応しておりませんが、今後、搭載できるようサービス元と共に努めて参ります。

Q04.　年間の費用、継続するために必要な機材、環境はどのようになるでしょうか

（紀伊國屋書店）教育機関様に関しては、初期費用・年間費用は不要です。コンテンツのご購入費用のみ発生致します。また、クラウドサービスのため、機材を揃えて頂く必要もございません。

コンテンツ購入費用について、導入時の目的によって必要冊数も異なります。例えば読書推進を目的とする場合、生徒がコンテンツを選び取っていけるようなボリュームが必要かと存じます。導入ご検討の際はお客様とご相談のうえ、お見積を作成させて頂きます。

Q05.　導入後の利用状況はどうなっているのでしょうか

（沖田様）日本体育大学柏高等学校は導入して 7 年になりますが、右肩上がりで推移しています。電子図書館の利用率が高く、紙図書館と比べると 5～6 倍ほど、貸出冊数が多い状

況です。特にコロナ禍で利用が増えましたが、コロナ禍以降も紙書籍と比べると利用が伸びています。

（紀伊國屋書店）日本体育大学柏高等学校様の場合は、各学年でオリエンテーションを実施されたほか、電子図書館のポスターを図書館や教室等に掲示し、周知を図ったそうです。他には、図書委員の生徒と司書が協力し、図書委員のオススメ書籍を QR コードの形で掲示するなど、直接電子書籍にアクセスできるよう工夫されている学校もございます。
利用促進のアイディアについては、弊社からもご提案させて頂ければと思います。

Q06.　独自資料はどのようなものを掲載していますか

（沖田様）毎年進学進路で使う手引き（100 ページ程度の冊子）の電子版を掲載しています。コロナ禍の最中は保護者も閲覧*できるように設定しました。その他に、漫画研究会の機関誌も掲載しています。
今後の展望としては、文化祭における優秀団体の活動報告や、陸上部・野球部等の選手名鑑を一時的かつ限定的（保護者や部活関係者のみ）に掲載することも検討しています。ただ、現段階では全校生徒が使える資料から掲載しています。
*現在は生徒と教員のみ閲覧可能

（紀伊國屋書店）その他に、探究活動のポスターや優秀論文を LibrariE に掲載している学校もございます。先輩が作成した資料はそれ自体が学習素材になりうるため、電子図書館に搭載することで、いつでもどこからでも利用でき、利便性があがったという話も伺っています。

＜独自資料エリアについて＞
・お申込み頂くと、オリジナルの資料を掲載頂くことができます。
・1 点ごとに閲覧設定が可能です。学外者への公開や、特定の学年・教員のみ等、
　様々な場面でご活用頂けます。
・有償のオプション機能となります。（10GB あたり月額 9,900 円（税込））

以上

株式会社紀伊國屋書店　学校教育 ICT 推進部
〒153-8504　東京都目黒区下目黒 3-7-10
E-Mail :school@kinokuniya.co.jp
TEL：03-6910-0518　FAX：03-6420-1359

紀伊國屋書店